

御影石と砂岩調の新しい風合が、新感覚の壁面を創造する。

GRANITERIOR

GRANITERIOR
EX

イーエックス

御影石・砂岩調装飾仕上塗材

グラニテリア[®] EX

GRANITERIOR EX

御影石・砂岩調装飾仕上塗材

グラニテリア EX

御影石と砂岩調の新しい風合が、新しい感覚の壁面を創り出す。

グラニテリアEXは、御影石の持つ装飾性と、

砂岩の優しさや温もりの感触を調和させた新型装飾仕上塗材です。

グラニテリアEXは、超低汚染性や高耐候性を考慮し美しさを長期に亘り、維持します。



GRANITERIOR

EX

イーエックス

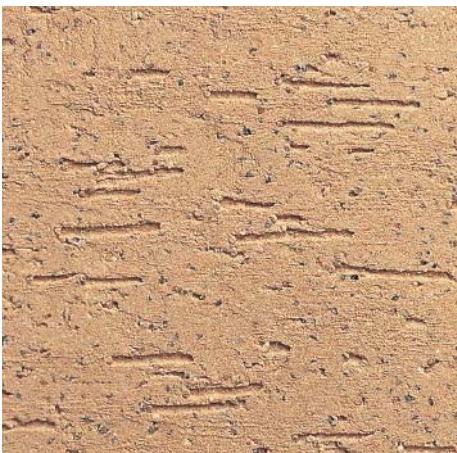


- ✦ 上塗りに超低汚染型アクリルシリコン樹脂系クリヤーを使用しますので、汚れに強く、また優れた耐候性を発揮します。
- ✦ 塗膜は微弾性を示すため、防水性に優れ、躯体への水の浸入を防ぎます。
- ✦ 土塗壁と異なり脱落の心配がありません。
- ✦ 防かび・防藻性があります。

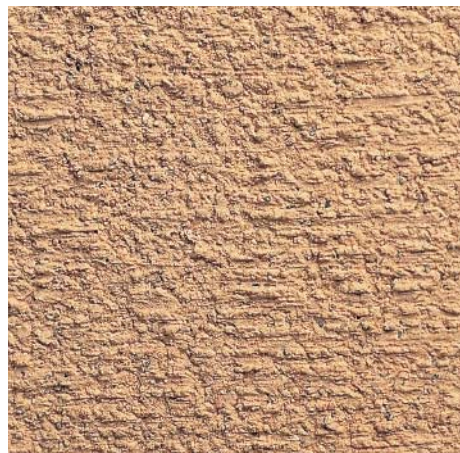
実績



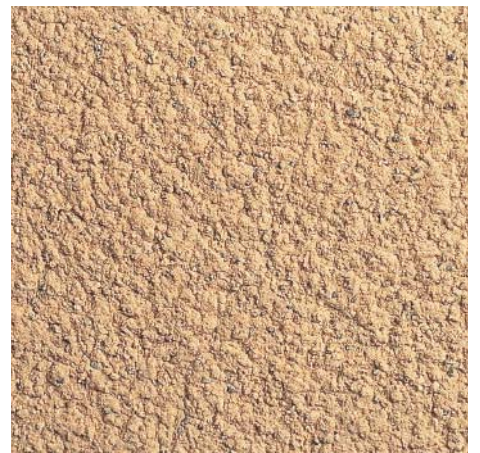
パターン例



■ テール仕上げ



■ キャニオン仕上げ



■ 吹放し仕上げ

カラーバリエーション (標準色はテール仕上げ)



GT-113E



GT-115E



GT-101E



GT-105E



GT-114E



GT-106E



GT-110E



GT-104E



GT-116E



GT-111E



GT-103E



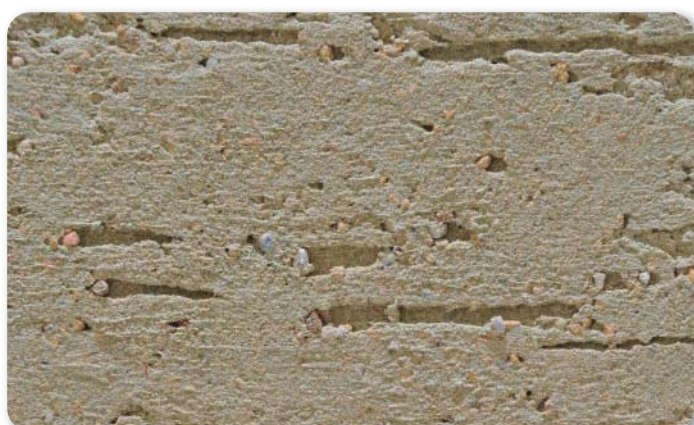
GT-107E



GT-102E



GT-109E



GT-112E

- ・標準色の仕上げはテール仕上げです。パターンの種類については、2頁をご参照ください。
- ・写真は印刷のため、実物と異なる場合があります。

GRANITERIOR
EX
イーエックス

グラニテリアEX

JIS A 6909 建築用仕上塗材 複層塗材E による物性結果

試験項目		結果	品質
低温安定性		合格	塊がなく、組成物の分離及び凝集がないこと。
初期乾燥によるひび割れ抵抗性		合格	ひび割れがないこと。
付着強さ	標準状態	1.2	0.7N/mm ² 以上
	浸水後	1.0	0.5N/mm ² 以上
温冷繰返し		合格	試験体の表面に、ひび割れ、剥がれ及び膨れがなく、かつ、著しい変色及び光沢低下がないこと。
透水性 B法		0.1	0.5ml以下
耐衝撃性		合格	ひび割れ、著しい変形及び剥がれがないこと。
耐候性 A法		合格	ひび割れ及び剥がれがなく、変色の程度がグレースケール3号以上であること。

荷 姿

SKサンドカラーベース(標準塗坪:64~80m ² /缶)	16kg石油缶
グラニテリアEXベース(標準塗坪:12~14m ² /缶)	20kg石油缶
グラニテリアEX主材(標準塗坪:4~5m ² /缶)	20kg石油缶
★クリーンエレガントップD艶消し 主剤	13kg石油缶
★クリーンエレガントップD 硬化剤(標準塗坪:42~50m ² /セット)	2kg缶
★クリーンエレガントップシリコン艶消し 主剤	14kg石油缶
★クリーンエレガントップシリコン 硬化剤(標準塗坪:42~50m ² /セット)	1kg缶
★塗料用シンナーA	16ℓ石油缶

※上記の標準塗坪は一般的なものであり、下地の状態や環境などによる 所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

危険情報と安全対策

製品の取り扱い、それぞれの安全データシート(SDS)に従ってください。
特に★印のついている製品は溶剤形の製品であるため、下記の点にご注意ください。
1.引火性の液体のため、火気厳禁です。
2.有機溶剤中毒のおそれがあるため、換気に注意し、防毒マスクまたは、送気マスクを使用するなどの安全対策を行ってください。
3.外装施工においては、溶剤成分が室内に流入しないように十分注意してください。
※使用環境によっては、特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則等の規制を受ける場合があります。詳しくは別途、施工仕様書等をご確認ください。

施工後の注意

本製品には揮発性の化学物質が含まれております。塗装直後の引渡し等において、化学物質過敏症やアレルギー体質の方への安全対策に十分留意してください。

標準施工仕様

グラニテリアEX ■ テール仕上げ

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)			備考	
					工程内	工程間	最終養生		
下地調整	<ul style="list-style-type: none"> ● 下地はよく乾燥させ、含水率10%以下、pH10以下としてください。 ● 付着物は完全に除去し、傷、不陸、目違いなどは補修調整してください。 							—	
1 下塗り	SKサンドカラーベース	100	0.20~0.25	1~2	2以上	2以上	—	<ul style="list-style-type: none"> ● ローラー ● 刷毛 ● エアレススプレーガン 吐出量：600~1000 ml/分 パターン幅：25~30 cm 	
	清水	5~15	—						
2 主材塗り① (基層塗り)	グラニテリアEXベース	100	1.4~1.6	1	—	4以上	—	<ul style="list-style-type: none"> ● リシガン 口径：4~6 mm 圧力：392~588 kPa (4~6 kgf/cm²) 	
	清水	3~5	—						
3 主材塗り② (模様塗り)	グラニテリアEX主材	100	4.0~4.5	1	—	0.5以内	—	<ul style="list-style-type: none"> ● スタッコガン 口径：8~12 mm 圧力：392~588 kPa (4~6 kgf/cm²) 	
	清水	0~2	—						
4 パターン付け	SK仕上げごとに清水を付け、塗面を均一かつ平滑にしごき、面を整え、その後一定方向にSK仕上げごとをずらしながらパターン付けを行ってください。							—	● SK仕上げごと
5 上塗り	クリーンエレガントップD艶消し 主剤	100	0.30~0.35	2	3以上 7日以内	—	24以上	<ul style="list-style-type: none"> ● エアレススプレーガン 吐出量：800~1000 P/分 パターン幅：25~30 cm 	
	クリーンエレガントップD 硬化剤	15.4							
	塗料用シンナーA	0~20							
5' 上塗り	クリーンエレガントップシリコン艶消し 主剤	100	0.30~0.35	2	3以上 7日以内	—	24以上	<ul style="list-style-type: none"> ● エアレススプレーガン 吐出量：800~1000 P/分 パターン幅：25~30 cm 	
	クリーンエレガントップシリコン 硬化剤	7.14							
	塗料用シンナーA	0~10							

グラニテリアEX ■ キャニオン仕上げ

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)			備考	
					工程内	工程間	最終養生		
下地調整	<ul style="list-style-type: none"> ● 下地はよく乾燥させ、含水率10%以下、pH10以下としてください。 ● 付着物は完全に除去し、傷、不陸、目違いなどは補修調整してください。 							—	
1 下塗り	SKサンドカラーベース	100	0.20~0.25	1~2	2以上	2以上	—	<ul style="list-style-type: none"> ● ローラー ● 刷毛 ● エアレススプレーガン 吐出量：600~1000 ml/分 パターン幅：25~30 cm 	
	清水	5~15	—						
2 主材塗り① (基層塗り)	グラニテリアEXベース	100	1.4~1.6	1	—	4以上	—	<ul style="list-style-type: none"> ● リシガン 口径：4~6 mm 圧力：392~588 kPa (4~6 kgf/cm²) 	
	清水	3~5	—						
3 主材塗り② (模様塗り)	グラニテリアEX主材	100	4.0~4.5	1	—	0.5以内	—	<ul style="list-style-type: none"> ● スタッコガン 口径：8~12 mm 圧力：392~588 kPa (4~6 kgf/cm²) 	
	清水	0~2	—						
4 パターン付け	キャニオンローラーに清水を付け、塗面を一定方向にランダムに移動し、パターン付けを行ってください。							—	● キャニオンローラー
5 上塗り	詳細はテール仕上げ5、5' 上塗り工程を参照。							—	

グラニテリアEX ■ 吹放し仕上げ

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)			備考	
					工程内	工程間	最終養生		
下地調整	<ul style="list-style-type: none"> ● 下地はよく乾燥させ、含水率10%以下、pH10以下としてください。 ● 付着物は完全に除去し、傷、不陸、目違いなどは補修調整してください。 							—	
1 下塗り	SKサンドカラーベース	100	0.20~0.25	1~2	2以上	2以上	—	<ul style="list-style-type: none"> ● ローラー ● 刷毛 ● エアレススプレーガン 吐出量：600~1000 ml/分 パターン幅：25~30 cm 	
	清水	5~15	—						
2 主材塗り① (基層塗り)	グラニテリアEXベース	100	1.4~1.6	1	—	4以上	—	<ul style="list-style-type: none"> ● リシガン 口径：4~6 mm 圧力：392~588 kPa (4~6 kgf/cm²) 	
	清水	3~5	—						
3 主材塗り② (模様塗り)	グラニテリアEX主材	100	4.0~4.5	1	—	24以上	—	<ul style="list-style-type: none"> ● スタッコガン 口径：8~12 mm 圧力：392~588 kPa (4~6 kgf/cm²) 	
	清水	0~2	—						
4 上塗り	詳細はテール仕上げ5、5' 上塗り工程を参照。							—	

注) SKサンドカラーベースの清水での希釈率は、スプレー塗り時で「10~15」、刷毛・ローラー塗り時で「5~10」となります。

用途

- 戸建て住宅、マンションなどの外装
- 店舗、事務所、ホテルなどの外装

適用下地

コンクリート セメントモルタル ALCパネル スレート板
各種サイディングボード 各種旧塗膜(活膜)など

施工上の注意

- ※ 1. ALC面、多孔質下地、粗面、その他下地に問題がある場合には、SFアンダー(20kg石油缶)、カケンファイラー(粉体20kg袋、混和液10kg石油缶)、ミラクフアンドKC-1000(粉体20kg袋、混和液5kgポリ容器)などにて下地調整を行ってください。なお、改装工事にはミラクフアンド各種をご使用ください。
- ※ 2. 下地の種類によっては、下塗材の選定が必要となります。特に押出成形セメント板、GRC板、PC部材などには、下塗材として★マイルドシーラーEPO(クイヤーホワイト、14kgセット)、または★ミラクシーラーEPO(15kgセット)をご使用ください。なお、軽量PC部材への施工は避けてください。詳しくは、最寄りの各営業所へお問い合わせください。
- ※ 3. パターン付けは、必ず指定の器具を使用してください。またパターン付けの際は、なるべく清水を切って行ってください。
- ※ 4. テール仕上げのパターン付けは、被塗面全体を均一かつ平滑になるようにならしてください。その際に余分な材料を除去し、その後SK仕上げごてを一定方向(右から左または左から右など)にずらしながら模様付けしてください。
- ※ 5. 主材塗り者とパターン付け者は、必ずペアになって施工してください。
- ※ 6. 上塗材の施工は、艶むらを選けるためスプレー塗装を原則としてください。
- ※ 7. 上塗りには、この他に★セラタイトFクイヤー艶消し(15kgセット)、★セラタイトSiクイヤー艶消し(15kgセット)もご使用いただけます。
- ※ 8. 二液反応硬化形の材料は、主剤と硬化剤を指定の比率で調合し、電動ミキサーで攪拌混合してご使用ください。特にセラタイトシリーズ、クリーンエレガントトップD、クリーンエレガントトップシリコンの各材料は、主剤と硬化剤の混合比率が不適切であったり、他の材料と混合したり、硬化剤を投入しなかった場合、低汚染機能が発揮されませんので、必ずこれを厳守してください。また材料調合後、缶に表示されている可使用時間内に使い切るようにしてください。
- ※ 9. 上塗材はむらなく均一に塗布してください。低汚染機能を発揮するためには、塗布量の確保が重要な事項です。特に凹部に塗り残しができないよう注意してください。また、タッチアップに使用する上塗材の主剤、硬化剤は予め良く振り、沈降分離していないものを必ず計量器を用いて計量し、電動ミキサーなどで十分に攪拌(2分以上)したものを使用し、製品容器に記載の可使用時間内に使い切るようにしてください。
- ※ 10. 上塗材は所定の乾燥時間(最終養生時間)を厳守してください。施工後、塗膜が乾燥するまでの時間内に降雨があった場合、汚染の原因につながることがあります。低汚染機能は乾燥後の塗膜で発揮されるため、乾燥過程で降雨が予想される場合は、シート養生を行うなどして、所定の乾燥時間を厳守してください。
- ※ 11. 施工部位により、低汚染性が十分に発揮されないケースがあります。特に傾斜壁の下端部、笠木などの水切のない部位、汚れが溜まりやすい目地の下部、雨がつかからない部位などは、注意が必要です。
- ※ 12. 施工当日に降雨、降雪、結露が予想される場合は、施工を中止してください。また、気象の急変などにより、施工中、施工後に降雨が生じた場合はシート養生などを行い、塗装面に直接雨がつかからないよう、対策を講じてください。
- ※ 13. 既存塗膜の剥離箇所は、既存のパターンに合うように既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- ※ 14. 改装工事に溶剤形の下塗材をご使用の場合は、溶剤などの影響により旧塗膜を侵し、膨れ、ちぢみなどの異状が発生することがあります。試し塗りにより確認の上、本施工に入ってください。
- ※ 15. 防かび・防藻性は繁殖の抑制の効果を示すものです。施工部位の構造や形状、環境条件などにより、防かび・防藻性が十分に発揮されない場合があります。
- ※ 16. かびや藻が付着している場合は、「SKKカビ除去剤#5(塩素系)」にて拭き取るなど、適切な下地処理をしてから塗装してください。
- ※ 17. 所要量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。
- ※ 18. 塗り重ね時間は環境(温度、湿度、換気、風通しやすさ)や膜厚によって変わります。
- ※ 19. 低温又は高湿度時には、乾燥が遅くなりますのでご注意ください。
- ※ 20. ロットが異なる材料は、色目が若干異なる場合がありますので、同一面での複数ロットの使用を避けてください。
- ※ 21. 補修塗りが必要な場合がありますので、補修用に使用塗料の控えを必ずとっておき、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
- ※ 22. 補修塗りの際、仕上がりの肌の違いにより、色目に若干の差を生じる場合がありますので、部分的に仕上がりを確認した上で希釈量等を決定してください。
- ※ 23. 大壁面では、補修部分が目立つ場合がありますのでご注意ください。
- ※ 24. シーリング材の上への施工は、塗膜にひび割れを生じますので避けてください。
- ※ 25. 陶磁器タイル洗浄用の酸が塗装面に付着すると、変色や溶解などの異状を生じることがありますので、これを防止するため、予め塗装面の養生を行ってください。
- ※ 26. 塗膜の膨れ、剥離、白化、しみの発生につながる場合がありますので、著しく結露が生じるような場所での使用は避けてください。
- ※ 27. 最終養生の時間内に、降雨、結露などがあれば、塗膜の膨れ、剥離、白化、しみの発生につながる場合がありますので、塗装を避けるか強制換気などで表面の水分を除去してください。
- ※ 28. 強風時、または降雨、降雪のおそれがある場合、及び気温5℃以下、湿度85%以上での施工は原則的に避けてください。気温5℃以下での施工が要求される場合は、採暖及び採暖のための養生により雰囲気温度、被塗面温度を5℃以上にしてください。
- ※ 29. 材料は使用前に内容物が均一になるように十分に攪拌し、開栓後は速やかに一度に使い切ってください。また材料を保管する場合は、無希釈の材料をしっかりと密栓してから直射日光を避けた冷暗所にて保管し、できるだけ早めに使い切ってください。
- ※ 30. 性能に支障をきたす可能性がありますので、当社指定以外の材料を混ぜないでください。



エスケー化研株式会社

本社 大阪府茨木市中穂積3-5-25 ☎072-621-7733
東京支社 東京都新宿区高田馬場1-31-18 ☎03-3204-6601 国際事業本部 ☎072-621-7727

札幌支店 ☎011-784-4000 千葉支店 ☎043-304-0411 名古屋支店 ☎052-561-7712 神戸支店 ☎078-671-0451
仙台支店 ☎022-259-2431 埼玉支店 ☎048-686-2391 京都支店 ☎075-646-3967 広島支店 ☎082-943-5043
東京支店 ☎03-3204-6601 横浜支店 ☎045-820-2400 大阪支店 ☎072-621-7721 福岡支店 ☎092-629-3427
旭川営業所 ☎0166-51-8094 宇都宮営業所 ☎028-633-9721 横浜支店 ☎045-820-5525 大阪営業所 ☎072-621-7722 北九州営業所 ☎093-621-8605
仙台支店 ☎022-288-8518 群馬支店 ☎03-3204-6601 厚木営業所 ☎046-294-3666 大阪支店 ☎072-621-7747 福岡営業所 ☎092-622-5561
青森営業所 ☎017-762-3855 東京支店 ☎03-3204-6602 静岡営業所 ☎054-284-1877 南大阪営業所 ☎072-253-1910 福岡支店 ☎092-622-5562
盛岡営業所 ☎019-654-8380 千葉営業所 ☎043-304-0411 浜松営業所 ☎053-462-7021 神戸支店 ☎078-671-0451 大分営業所 ☎097-555-9081
郡山営業所 ☎024-962-7673 千葉支店 ☎043-304-0413 三河営業所 ☎0564-28-1614 姫路出張所 ☎079-281-5311 長崎営業所 ☎095-887-0871
新潟営業所 ☎025-285-6551 埼玉支店 ☎048-686-2391 北陸営業所 ☎076-266-1041 岡山営業所 ☎086-242-5520 熊本営業所 ☎096-344-5850
群馬営業所 ☎027-280-5350 埼玉支店 ☎048-686-1586 名古屋営業所 ☎052-561-7712 広島支店 ☎082-943-5053 鹿児島営業所 ☎099-284-5321
長野営業所 ☎026-239-6210 岐阜営業所 ☎03-3977-7770 北見支店 ☎015-661-7712 山口営業所 ☎083-924-7575 宮崎出張所 ☎0985-61-7779
松本営業所 ☎0263-24-2677 三多摩営業所 ☎042-564-5806 岐阜営業所 ☎058-273-1981 高松営業所 ☎087-865-5411 沖縄営業所 ☎098-862-5041
水戸営業所 ☎029-251-6515 横浜営業所 ☎045-820-2400 三重営業所 ☎059-254-3777 松山出張所 ☎089-968-7240

大利根工場・埼玉工場・神奈川工場・名古屋工場・大阪工場・兵庫工場・九州工場

このパンフレットに記載の商品は予告なしに仕様や取り扱いを変更することがあります。また、このパンフレットに記載の内容について、無断転載・複製を禁じます。特記仕様がある場合はこれを最優先にしてください。詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。

URL <http://www.sk-kaken.co.jp>

特約販売店